

校内マラソン大会閉会式における校長講評（抜粋）

男女それぞれ第1位、第2位、第3位、そして上位入賞の生徒の皆さん、おめでとう。それぞれの素質の上に、日々の部活動や体育の授業で練習を重ねてきた成果を十分に発揮することができたと思います。おめでとう。何より大きな怪我や事故がなかったのが一番です。

一方、長い距離を走るのが苦手な生徒。それでも終わるでしょ。終わってここに集まっていますよね。苦手なことでも何とか過ぎていく。このことを体験してほしい。だからマラソン大会はやめられません。AEDを準備しての学校行事ですが、やめられません。

苦手なことがわかるからこそ、得意なことも際立ち、より高めていこうと思うんじゃないかな。マラソンは苦手だけど、私は書道で頑張るぞ。私は書道は苦手だけど、トランペット、吹奏楽部で頑張るぞ。私は楽器は苦手だから勉強、数学で頑張るぞ。私は数学は苦手だけど英語で頑張るぞ、というように。

誰でも一つや二つ、三つや四つ、苦手なことはあります。だから、一つ二つの苦手なことで、自分の全てをつぶしてはいけませんよ。

最後に、早朝から豚汁をつくり、振る舞っていただいた父母教師会 武藤 会長様を始め父母教師会の皆様にお礼を申し上げます。

もう一つ、進路の決まった3年生が応援に来て、沿道で声援を送ってくれました。実に温かい。だから全体としてほっこりとした温かいマラソン大会になったと思います。これが山門高校だと思いません。

（*豚汁を振る舞っていただいた保護者の皆様には、「お礼は、何杯もおかわりにきてくれた生徒さんの笑顔で十分ですよ。残飯も全く残らなかったんですよ。」とっていただき、感謝です。平日のお忙しい中、学校行事にご協力いただき、ありがとうございました。）



○私（校長）のランニングシャツの背番号は「61」、もちろん年齢です。

○生徒にどう受け止められているのかはわかりませんが、生徒と一緒に体験するからこそ“見えてくるもの”もあるように思います。